



# 鹿骨東小学校



鹿骨東小学鹿骨東小学校公式ホームページ <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibonehigashi-e/>

## 「思いを届ける」～学習発表会を終えて～

鹿骨東小学校校長 中田 伸代

先日の学習発表会には、沢山の地域、保護者の皆様にご来校頂きました。児童が退場するとき、最後の一人が退場するまで、大きな温かい拍手が続いていました。胸を張り嬉しそうに退場していく子供たち。どこか一回り大きく成長したように思います。伝えたい思いがあって、相手に伝わるように練習をし、それを受け止めてくれる人達がいること。それこそが子供たちの表現力を高め、工夫して人に自分の考えや思いを伝えようとする力を育てて行くのだと思います。ご参観いただきまして、ありがとうございました。

1、3、5年生は音楽的表現。1年生は鍵盤ハーモニカに挑戦。リハーサルでは、地域の保育園の皆さんにも演奏を聴いていただきました。3年生は初めてのリコーダーと元気な歌声、そして打楽器も入った合奏がすてきでした。5年生はさすが高学年。リコーダーを猛特訓して、「情熱大陸」の難しいメロディーを吹けるようになりました。また、歌も合奏も複雑な編成になり、ハーモニーが見事でした。2、4、6年生は今までの学習の成果を劇やプレゼンテーションにして発表。2年生は生活科見学で葛西臨海公園に行き、そのときに見た魚たちを調べて、「生きものだいすき戦隊オシエタインジャー」になって海の生き物について劇で発表しました。4年生のテーマは「防災」。ゼロメートル地帯である江戸川区で、「自分たちにできること」を調べ、考えたことを分かりやすく伝えました。そして、最後の6年生。1学期から自分のテーマを決めて学んできたSDGsの学習。自分の取り組みたい活動ごとに、チームを作り、様々な活動に挑戦しました。「植物を植える活動」「地球温暖化防止」「節水」「親水緑道の掃除」「戦争反対」「貧困」「人権」「東南アジアの子供たちに質の高い教育を」「ゴミ削減」

「LGBTQ+」等、日光移動教室から10日間という短期間でしたが、パワーポイントでプレゼンテーションを作成し、自分たちの活動と思いを伝えました。校内には、6年生の作成したポスターやスタンプラリー、今回新たに始まった「環境マスター」のクイズ問題などが掲示されています。子供たちが考えたスローガンは「心をついに思いを届け 咲かせよう努力の花」でした。教科担任制を取り入れている高学年。時間割変更は難しく、学年練習ができるのは週に1・2時間しかありません。今まで学んできたことが少しずつスパイラルのように積み上がって、短期間でもこれだけの事ができる子供たちに成長しました。6年生の最後の「地球星歌」の合唱を聞きながら、小学校生活の集大成としてこの素晴らしい6年生の発表になっているのだと改めて感じ、子供たちを大変誇りに思いました。魅力的な図工の作品も含めて、子供たちの「思い」はきっと届いたことと思います。

6年生が行ったSDGs募金は合計43,428円集まりました。このお金は、宍戸仙助先生を通して、東南アジアの貧困の子供たちの教育や、戦争の不発弾処理、難民支援などに使っていただきます。



